

製品安全データシート

固形燃料
ホワイトプロダクト株式会社
作成日：2001年7月1日
改定日：2017年6月15日
第4版

1. 化学品及び会社情報

化学物質の名称	固形燃料
品名	なべっこ(一斗缶・青箱・赤箱)
会社名	ホワイトプロダクト株式会社
住所	東京都港区芝浦3-14-17
担当部門	研究開発室
電話番号	03-3452-0231
FAX番号	03-3454-0253
メールアドレス	info@white-bear.jp
緊急連絡先	03-3452-0231
推奨用途及び使用上の制限	調理及び料理保温用固形燃料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	
可燃性固体	区分 1または2
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分 5
急性毒性(経皮)	区分 外
急性毒性(吸入)	区分 外
皮膚腐食性・刺激性	区分 2A-2B
生殖細胞変異原性	区分 外
発がん性	区分 外
生殖毒性	区分 1B
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分 1 中枢神経系、視覚器、全身毒性
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分 3 気道刺激性、麻酔作用
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分 中枢神経系、視覚器
吸引性呼吸器有害性	区分 外
環境に対する有害性	
水生環境有害性・急性	区分 外

※記載の無いものは「分類対象外」「分類できない」

揮発したメタノールは、空気と一定量混合すると揮発性混合ガスを作りやすいので注意すること。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性固体
飲み込むと有害のおそれ
皮膚刺激
強い眼刺激
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系、視覚器、全身毒性の障害
眠気またはめまいのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ

製品安全データシート

固形燃料
ホワイトプロダクト株式会社
作成日：2001年7月1日
改定日：2017年6月15日
第4版

長期または反復ばく露による中枢神経系、視覚器の障害

注意書き
安全対策

- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ この製品を取り扱う時に飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
- ・ 防爆型の電気機器、換気装置、照明器具を使用すること。
- ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・ 保護手袋を着用すること。
- ・ 保護手袋/保護面/保護眼鏡を着用すること。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・ ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・ この製品の取り扱い後は良く手を洗うこと。

応急措置

- ・ 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 目に入った場合、清浄な流水で15分以上注意深く洗眼する。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 皮膚に付着した場合、多量の清浄な流水と石鹸で洗うこと。
- ・ 皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診察/手当てを受けること。
- ・ 衣類に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を脱ぐこと。
- ・ 汚染された衣類を再利用する場合は、洗濯すること。
- ・ ばく露またはその懸念がある場合は、医師の診察を受けること。
- ・ 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

保管

- ・ 涼しく換気の良い場所で保管すること。
- ・ 施錠して保管すること。

廃棄

- ・ 内容物/容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を得た専門の産業廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学品・混合物の区別 : 混合物
成分及び含有量

化学名/一般名	含有量(%)	CAS NO.	化審法	安衛法	PRTR法	毒劇法
メタノール	85～95	67-56-1	2-201	9-560	非該当	※
ステアリン酸ナトリウム	7～17	822-16-2	2-611	9-325	非該当	非該当
水分	1～10	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当
色素	微量	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当

化審法 官報公示整理番号(化審法)

労働安全衛生法 表示物質 : 施行令第18条 名称を表示すべき有害物

通知物質 : 法第57条の2 施行令第18条の2別表第9 名称等を通知すべき有害物

PRTR法 : 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律

毒劇法(毒物及び劇物取締法) : 含有するが混合物の為非該当。

4. 応急措置

吸入した場合

- ・ 気分が悪くなった場合は、新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸しやすい姿勢で安静にすること。
- ・ 気分が回復しない場合は、医師の診察を受けること。

製品安全データシート

皮膚に付着した場合	・ 清浄な流水と石鹼を使用して洗い流すこと。 ・ 皮膚外観に異常が見られたり気分が悪い時は医師の診察を受けること。 ・ 衣類に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を脱ぐこと。 ・ 汚染された衣類を再利用する場合は、洗濯してから使用すること。
眼に入った場合	・ 目に入った場合、清浄な流水で15分以上注意深く洗眼する。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ・ 眼の刺激が続く場合は医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合	・ 直ちに口中を水ですすぎ、医師の診察を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状	・ 咳、頭痛、めまい、息切れ、嘔吐、下痢、腹痛、意識喪失 ・ 症状は遅れて発現することがあり、医学的な経過観察が必要である。
応急措置をする者の保護	・ 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	・ 小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、砂、土、一般の泡消火剤 ・ 大火災：散水、噴霧水、通常の泡消火剤
使ってはならない消火剤	・ 棒状注水
特有の危険有害性	・ 摩擦、熱、火花及び火炎で発火する恐れがある。 ・ フレアー燃焼効果により速やかに燃焼するおそれがある。 ・ 爆発したり、爆発的な激しさで燃焼するおそれがある。 ・ 消火後再び発火する恐れがある。 ・ 火災によって刺激性、または毒性のガスを発生する恐れがある。
特有の消化方法	・ 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 ・ 移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。 ・ 消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	・ 消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め完全な防護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具及び緊急時措置	・ 作業者は適切な保護具（「8.ばく露及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 ・ 揮発性があるので、付近の着火源となるものを速やかに取り除く。 ・ 直ちに全方向に適切な距離を漏えい区域として隔離する。 ・ 関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	・ 環境中へ放出してはならない。 ・ 河川等に排出され、環境へ影響を及ぼさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	・ 排水、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。 ・ 危険でなければ漏れを止める。 ・ 漏出物を扱う時は、用いる全ての用具は接地する。 ・ 床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理する。
回収・中和	・ 少量の場合は、清潔な帯電防止工具を使用して乾燥度、砂や不燃材料で吸収し、密閉できる空容器に回収する。 ・ 大量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。 ・ 大量の場合、散水は蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では燃焼を抑えることができない恐れがある。

固形燃料
 ホワイトプロダクト株式会社
 作成日：2001年7月1日
 改定日：2017年6月15日
 第4版

製品安全データシート

二次災害の防止策

- ・ 全ての発火源を速やかに取り除く。(近傍での喫煙、花火や火災の禁止)
排水、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

- ・ 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

- ・ 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取り扱い注意事項

- ・ 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
- ・ 容器を落下させ、衝撃を加える等の取り扱いをしてはならない。
- ・ 屋外または換気の良い場所で使用すること。
- ・ 接触、吸入または飲み込んではいない。
- ・ 眼に入れてはいけない。
- ・ ミストやスプレーを吸入しないこと。
- ・ 眼、皮膚との接触を避けること。

接触回避

- ・ 「10.安定性及び反応性」の項を参照のこと。

保管

保管条件

- ・ 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から離して保管すること。
- ・ 禁煙。
- ・ 冷所、換気の良い場所で保管すること。
- ・ 製品は直射日光を避け、温度が40℃以上の高温になる場所には保管しないこと。
- ・ 酸化剤から離して保管する。

混触危険物質

- ・ 「10.安定性及び反応性」の項を参照のこと。

容器包装材料

- ・ 密閉可能な破損の無い容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

化学名/一般名	管理濃度	日本産学衛生学会	ACGIH	
			TLV-TWA	STEL
メタノール	200ppm	200ppm (260mg/m ³)	200ppm	

設備対策

- ・ 製造業者その他が指定する、防爆型の電気機器、換気照明機器を使用すること。
- ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・ この製品を使用する作業場には、洗眼器を設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

手の保護具

眼の保護具

皮膚及び身体

の保護具

- ； 適切な呼吸保護具を着用すること。
- ； 適切な保護手袋を着用すること。
- ； 適切な保護具を着用すること。
(保護眼鏡: 普通眼鏡型、側板付普通眼鏡型、ゴーグル型)
- ； 適切な保護手袋及び眼、顔面の保護具を着用すること。

衛生対策

- ・ この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 取り扱い後は良く手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観

製品安全データシート

固形燃料
ホワイトプロダクト株式会社
作成日：2001年7月1日
改定日：2017年6月15日
第4版

ラット反復吸入ばく露試験で気道刺激性がみられたとの記述、及びヒトで粘膜刺激症状がみられるとの記述がある。
過剰ばく露の徴候及び症状は、眠気及び意識喪失等の中樞神経系作用のことがある。

特定標的臓器・全身毒性
(反復ばく露) : ヒトの長期ばく露例で中樞神経系の抑制及び視覚器障害がみられたとの記述より、標的臓器は中樞神経系及び視覚器とした。

(ステアリン酸ナトリウム100%としての情報)

皮膚腐食性・刺激性 : ウサギを用いた試験で刺激性が無いとの報告がある。

眼に対する重篤な損傷 : ウサギの試験で、一過性の軽度な結膜充血及び角膜上皮の光学的不規則性がみられ、中等度の刺激性を示すとの報告がある。

12. 環境衛生情報

製品の有害性情報 : 情報なし

個々の成分の有害性情報
記載の無いものはGHSカットオフ値未満もしくは知見なし、データなしの成分

(メタノール100%としての情報)

生体毒性 : 甲殻類(ブラインシュリンプ)24時間LC50 900.73mg/L
残留性・分解性 : 微生物による休息分解性あり(BODによる分解度=92%)

(ステアリン酸ナトリウム100%としての情報)

生体毒性 : 甲殻類(オオミジンコ)48時間EC50 19mg/L
残留性・分解性 : 微生物による休息分解性あり(BODによる分解度=83%)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制
海上規制情報 : IMOの規定に従う
陸上規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う
国連分類 : 4.1
国連番号 : 2926
容器等級 : III

国内規制
陸上輸送 : 消防法の規定に従う。
海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。
航空輸送 : 航空法の規定に従う。

緊急時応急措置指針番号 : 134
(容器エラーカード指針番号)

積載方法 : 運搬時の積み重ね高さは3m以下

製品安全データシート

固形燃料
ホワイトプロダクト株式会社
作成日：2001年7月1日
改定日：2017年6月15日
第4版

混載禁止 : 第1類及び第6類の危険物との混載禁止。

輸送の特定の安全対策及び条件 : 転落し、または危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。
食糧や飼料と一緒に輸送してはならない。
火気厳禁。
荷崩れ防止を確実に行う。
該当法令に従い包装、表示、輸送を行う。
直射日光を避ける。
水ぬれ厳禁。
横積み厳禁。
夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。

15. 適用法令

消防法 : 第2類引火性固体(指定数量;1000kg)
労働安全衛生法 : 表示物質を含有するが非該当(政令番号;36 メタノール)
: 通知物質を含有するが非該当(政令番号;325 ステアリン酸ナトリウム)
(政令番号;560 メタノール)
※ 本製品はシュリンクフィルムで密閉個装を施しており、労働安全衛生法における「取扱いの過程において固体以外の状態にならず、かつ、粉状又は粒状にならない製品」に該当し、法第57条及び第57条の2の適用除外となります。
有機溶剤中毒予防規則 : 第2種有機溶剤を含有する。(メタノール)

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進の改善の促進に関する法(PRTR法)
: 非該当 含有しない

毒物及び劇物取締法 : 非該当 含有するが混合物の為非該当

16. その他情報

参考文献

GHS分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構HP)
中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP
GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・データシート作成指針(日本化学工業協会)
GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
JISA7253(2012)

※ 注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取扱事業者提供されるものです。取り扱う事業者はこれを参考として、自らの責任において個々の取り扱いなどの実態に応じた処置を講ずることが必要であることを理解したうえで活用されるよう、お願い致します。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。